☎ 591−7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

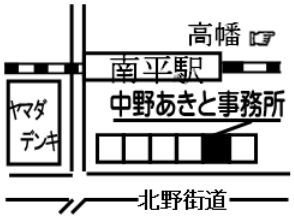
市議会議員　中野あきと事務所ニュース

みどりと清流

２００３年２月発行　第１５号
日本共産党　中野あきと事務所
日野市南平７－６－７２　☎599-3350
〒191-0041　発行責任者　小山敏正

しんぶん赤旗
日刊紙　一か月 2900 円
日曜版　一か月　800 円
お申し込みは
南多摩事務所
☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



市制４０周年記念行事

児童・生徒1万2千人を動員・大合唱

日野市教育委員会が「郷土愛や郷土意識を高める」ことを目的に、『市制４０周年記念メモリアルコンサート』を計画しているようです。

市教育委員会

「郷土愛・郷土意識を高めるため」

学校教育部の「事業計画案」によれば、今年の１１月に市民会館大ホールに市内の幼稚園、小学校、中学校の児童の代表を集め、各学校（園）の在校生は自校の体育館に集まり、それぞれをインターネットでつなぎ『市歌』などの　大合唱を行う、となっています。

この計画が、どこまで具体化しているかは不明ですが、市の記念行事に幼児、児童、生徒を総動員することに、どんな教育的意味があるかなど、市民の中で大いに議論すべきではないでしょうか。

「郷土愛」や「郷土意識」は上から押し付けて育てるものなのか。政府が「郷土愛や国を愛する心」を教育基本法の理念に書き加えようとする動きと合わせて考えてみるべき問題です。

教育はどうなっているのか　『語り合う集い』　開かれる

南平小　今でも続く執拗な「君が代」伴奏の強要

「君が代」「日の丸」の強制、教育基本法の改悪、新学習指導要綱など、教育現場からの報告を聞きながら話し合いを深めようと、去る二月十一日、中野あきと事務所が主催して「最近の教育を語り合う集い」が行われました。

現在、中央教育審議会では「教育基本法の『見直し』」の審議がすすめられ、最終答申が出されようとしています。

いま教育現場では、それを先取りをするかのように「日本人としての自覚」の押しつけ、「愛国心」や「国家への奉仕」を重視する復古的な道徳教育の押しつけが行なわれている状況などが報告されました。

この中で、九九年に起きた南平小学校「君が代」のピアノ伴奏強制問題の、その後の経過も報告されました。

この問題は現在、東京地裁で係争中であるにもかかわらず、自身の信条を理由に伴奏を断った教員に、いっそう執拗な伴奏の強要が行なわれている事実が明らかにされ、参加者を驚かせました。

こうした学校現場での実態に対して参加者からは、放置できない問題として意見が集中し、裁判の傍聴や、市教育委員会や学校長への要請行動など、取り組みを強めることが確認されました。

国保税値上げの４月実施凍結を求める署名にご協力を

ほとんどの市民が知らないうちに、国民健康保険税の値上げが昨年暮れの定例市議会で可決され、今年の４月から実施されようとしています。市長による国保運営協議会への諮問から、市議会への条例提案までわずか一か月。その対象は高齢者、小規模自営業者、無職の人たちで、生活への影響ははかりしれません。

三月議会に向けて、多くの署名をお願いします。

３月の相談日は８日（土）です。（午後２～５時）

草の根から

今年に入り、私のところへの生活相談の件数がいっそう増えています。生活保護の申請相談が四件。低家賃住宅への入居など住宅相談が六件。その方々のほとんどが失職、リストラです。▼「今日の痛みに耐えれば、明日はよくなる」と言い放ち失業、倒産の増大を「改革が進んでいる現れ」といってのける小泉首相にとっては、この「苦しみ」「痛み」は、「改革の成果」としか映らないのでしょうか▼「娘はいま大学四年生で、授業料が年一四〇万かかります」「本人は、やめてもいいよ、といってくれますが、本当に辛いです」「お父さんは毎日ぐちばかりで喧嘩が絶えません」。失業は本人だけではなく、家族の人生設計も狂わせます▼「痛み」の一言でかたづけられてはたまりません。庶民の苦労を「成果」といってはばからない小泉内閣には、もはや退陣してもらうしかありません。

※中野事務所では、毎月一回相談日をもうけ、私が直接お話をうかがっています。それ以外の日でも、お問い合わせ下さい。

中野あきと

広く意見を求めて計画の立案を

市は施設建設に当たって、用地確保のため隣接している高齢者農園を廃止し、建設費の確保を理由に学童クラブの建物を取り壊し跡地を売却する予定を明らかにしました。※(注)

農園利用者の理解は得られているのか。また、保育所待機児が３００人を越える実態や、満杯の学童クラブの現状がある中で、市有地の売却や建物の取り壊しを拙速にすすめるのではなく、有効活用の声も上がっています。

同時に、計画の検討に当たっては、自治会はもとより、近隣の方々、施設利用者など、広く意見を求める必要があります。児童館については、利用当事者の子どもたちからの声も聞く必要があります。

(注)　同地区センターには隣接して「たんぽぽ学童クラブ」がありましたが、現在は廃止され建物だけは残されています。市は、同一通学地域であることを理由に、浅川対岸の２小に隣接して建設中の学童クラブに編入するとしています。

南平西部地区センター再建へ

児童館を含む複合施設の計画

市が素案を発表

二〇〇〇年十二月に火災により焼失した南平西部地区センターが、二〇〇四年度末完成の予定で、児童館を併設した複合施設として再建されることになりました。

この計画は二月四日、地区センターを管理していた五つの自治会への説明会で明らかにされました。

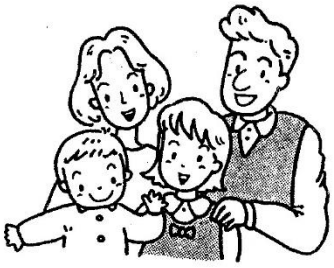
同地区センターは、南平駅から至近の距離にあり、利用件数は市内でも有数であったことから、早期の再建が望まれていました。

併設の児童館は

中学生や高校生の利用も

児童館にはバスケットボールができる体育室や図書室、調理室、バンド練習が可能な音楽室が設置される計画となっています。

完成すれば、南平では初めての児童館となります。



3月市議会へ　また高齢者福祉の切り捨てが

健康管理手当て三千円削減

理美容券一万二千人からとり上げ

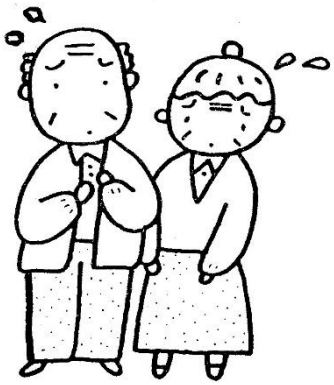
馬場市長は二月十二日、市議会各会派に対して、三月市議会へ提案する来年度予算案の概要を説明。この中で高齢者への理美容券や健康管理手当を、さらに大幅にカットすることを明らかにしました。

これらの制度については、すでに二〇〇〇年度に大幅に削減されていて、理美容券は年間六枚から三枚に、健康管理手当は一二、〇〇〇円から八、〇〇〇円に切り下げられていました。

市長が説明した新年度予算案では、さらに理美容券対象者に所得制限をつけ、対象者全体の三分の二にあたる一二、六〇〇人から理美容券をとり上げることにしています。

健康管理手当ても、さらに切り下げ五、〇〇〇円とします。

二つの福祉施策の切り下げで、約一億円の予算カットとなります。



短信

「国保はすでに三割負担、健保も三割にして何が悪い」小泉首相のおうむ返しの言い分です。三割負担の国保では、病気が重症化した割合を示す高額療養費件数が、現在二割負担の健保本人に比べ五倍以上。三割負担が深刻な重症化を招き、逆に健保財政の危機を促進することは明らかです。どんなに道理をつくしても、この人には庶民の痛みは通じません。でも、首相がいくら国民の声を無視しようと「医療費三割負担反対」の声は抑えることはできません▽ハンガリー82%、日本78%、フランス76%。世論調査にみるイラク戦争反対の国民の声の高さです。一方、アメリカ追随で国民世論と乖離した小泉内閣の、国際舞台での影の薄さが際立ちます▽昨年一年間、市議会に寄せられた市民の請願は六万五千人分。日野市の有権者数の半数を超えます。しかし市議会与党はこの署名数の大部分をしめる請願を不採択。「市政を転換しなくては」の声が広がっています。三月市議会はもうすぐ、一人でも多くの傍聴を。